

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公表番号】特表2008-516898(P2008-516898A)
 【公表日】平成20年5月22日(2008.5.22)
 【年通号数】公開・登録公報2008-020
 【出願番号】特願2007-535954(P2007-535954)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/506 (2006.01)
 C 0 7 D 401/04 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 P 25/00 (2006.01)
 A 6 1 P 21/00 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/506
 C 0 7 D 401/04
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 21/00
 A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】
 【提出日】平成20年10月10日(2008.10.10)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

活性成分として4-(4-メチルピペラジン-1-イルメチル)-N-[4-メチル-3-(4-(ピリジン-3-イル)ピリミジン-2-イルアミノ)フェニル]-ベンズアミド(化合物I)またはその薬学的に許容される塩を含む、絨毛血管癌腫、悪性組織球増殖症、胎児性癌腫、子宮内膜癌腫、脳の小グリア細胞腫瘍、サルコイドーシス、小グリア細胞関連通常型および変異型クロイツフェルト・ヤコブ病、または筋萎縮性側索硬化症からなる群から選択されるc-fms関連疾患を処置するための医薬組成物。

【請求項2】

c-fms関連疾患が悪性組織球増殖症である請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

c-fms関連疾患が子宮内膜癌腫である請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項4】

化合物Iまたは薬学的に許容されるその塩と使用のための指示書を一緒に含む商品パッケージ。